

第3回 新任教員セミナー

国際文化学研究科の新任教員の研究内容を紹介・発信し、学部や大学院での学術交流を促進することを目的に開催するセミナー・シリーズです。

第3回はそれぞれ、クィア・マイグレーションとロシア文学をご専門とされるお二人にご発表いただきます。

日時：2021年12月10日（金）15：30～17：00

場所：オンライン開催（Zoom）

講師：工藤晴子（国際文化学研究科講師）

「難民とセクシュアリティ

—アメリカにおける性的マイノリティの包摂と排除」

高田映介（国際文化学研究科講師）

「くどこでもないところからの眺め」—チェーホフの創作と現代」

司会・コメンテーター：青山薫（国際文化学研究科教授）

コメンテーター：石田圭子（国際文化学研究科准教授）

申込方法：専用フォーム bit.ly/1210promis

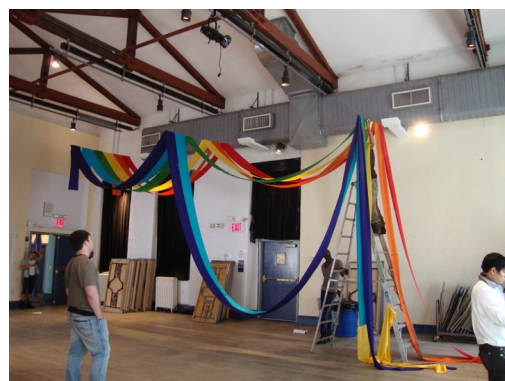


※開催日までにオンライントークにアクセスするためのURLを送付いたします。

講師略歴

工藤晴子

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）エジプト、トルコ事務所にて性暴力の予防・対応や性的マイノリティの保護を中心とした難民支援に携わる。『難民とセクシュアリティ—アメリカにおける性的マイノリティの包摂と排除』刊行予定(明石書店、2022)。



高田映介

1985年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(文学)。現在、神戸大学国際文化学研究科講師。おもな著書に、『世界の瞬間—チェーホフの詩学と進化論』（水声社、2020年）『ロシアの物語空間』（共著、水声社、2017年）などがある。